






小学校六年生に中学校の様子を紹介することになり、たかしさんの班は「部活動」を取り上げることにしました。次は、たかしさんの班のプレゼンテーションのための【進行案】と、これを修正するための【班員の意見】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【進行案】

【資料】	【説明内容のメモ】	【時間】
1 部活動について	はじめに ・小学校との大きな違いの一つ ・6年生のみなさんが興味をもっている ・中学校生活充実のカギ	10秒
2 部活動の種類 運動部 陸上部・野球部・テニス部・サッカー部 バスケット部・バレー部・卓球部 文化部 吹奏楽部・合唱部・放送部・美術部	どのような部活動があるか ・運動部と文化部合わせて11の部活動がある	20秒
3 よいこと・大変なこと  ・試合に勝つと、うれしい。 ・忍耐力が身に付く。 ・あいさつや礼儀が身に付く。 ・打ち込めることを見付けて、毎日が充実している。  ・体力的にきつい。 ・勉強する時間が取れない。 ・先輩や友達との人間関係が難しい。	部活動をやっている、よいことや大変なことは何か ・自分の成長を実感でき、毎日が充実する ・慣れるまでは体力的にきつく、勉強時間が取れない	1分
4 勉強と部活動の両立  A先輩 集中して授業を受けることが大切だよ！ 休み時間も有効に使っているよ。  B先輩 見たいテレビ番組やゲームの時間を決めるようにしているよ。  C先輩 部活の片づけを早くするなど、協力してむだな時間をなくす工夫をしているわ。	どうすれば勉強と両立できるか ・最大の悩みは、勉強と部活動を両立すること ・うまく両立している人にインタビューした ・共通するのは	1分
5 6年生へのメッセージ 部活動は、心を強くし、毎日を充実させます！ 入部を待っています！	6年生に伝えたいことは ・部活動は心を強くし、毎日を充実させるので、ぜひ入部してほしい	30秒

【班員の意見】

部活動の種類を紹介するだけでなく、それぞれの部の部員の数とか、構成メンバーとか、具体的なことも入れてみてはどうだろう。

六年生が知りたい内容になっていくかな。私は、いつ、どんな活動をしているのか気になったから、活動の様子や時間を入れた方がいいかな。

「部活動と勉強の両立」が中心になって印象を受けるね。「心を強くし、毎日を充実させる」とことと「両立」することの関係がわかるといいね。

一番伝えたいのは、部活動にはたくさんよいことがあるので、入部してほしいということだから、もっと部活動のよさが伝わるようにしたいな。



さとみ



おさむ



めぐみ



つとむ

1 たかしさんたちの【進行案】にある【資料】について説明したものとして最も適切なものを、次のア～エから選びなさい。

- ア 話す内容に説得力をもたせるために、六年生が知りたいことを中心に構成している。
- イ 伝えたいことを明確に示すために、それぞれの内容にふさわしい見出しを付けている。
- ウ 事実や聞いたことと自分たちの考えとを区別するために、文字の大きさを変えている。
- エ 大切なことを強調するために、イラストを入れたり文字の周りを囲んだりしている。

2 【進行案】の【説明内容のメモ】の には、何を書くのが適切ですか。【進行案】の内容を踏まえ、五字以上、十字以内で書きなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

3 たかしさんたちは、【班員の意見】をもとに、次の【付け加える資料】を作成しました。【付け加える資料】

部活動の風景

活動の様子を紹介します！

陸上部





キャプテンの
谷先輩

いいところは・・・
それぞれが目標をもち、一生懸命練習して頑張っているところ。

陸上部の練習メニュー

- 1 体操
- 2 日替わりメニュー
(例)・250メートルのインターバル×10本
・校舎周り300メートルの24週のペース走
・校舎周りの24週のビルドアップ
(だんだんペースを上げる。)
- 3 アイシング(バケツに足を浸ける。)(3分)
- 4 竹踏み(2分)
- 5 ストレッチ・マッサージ (15分)

練習時間
平日 4時～6時半
土日 大会・競技会など
(日によって違う)

(1) 参考にしたのは、だれの意見ですか。さとみさん・おさむさん・めぐみさん・つとむさんの中から一人選び、その名前を答えなさい。

さん

(2) この【付け加える資料】は、【進行案】の中のどの【資料】の後に入ればよいですか。最も適切な場所を、【進行案】の1から4までのの中から選びなさい。また、そう考える理由を、前後の【資料】との関係に触れて説明しなさい。

の後

問題について

「話すこと・聞くこと」資料を作成して発表する問題
(学校紹介のプレゼンテーションをする)

説明や発表などの言語活動を行う際は、自分の意見や考えがより効果的に伝わるよう話の展開や構成を工夫することが大切です。

例えば、発表に使用するために作成した資料を見直し、聞き手の立場に立って組み替えてみたり、一部の資料を作成し直したりすることが話の構成をよりよくすることになります。その際、発表のリハーサルを見合ったり、映像などに記録した発表の様子を見直したりする学習活動を取り入れるようにしましょう。

○ 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。

○ 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。

解答



6

1 イ

2 (例) 時間の使い方の工夫

* 同様の内容が書いていけばよい。

3 (1) めぐみ(さん)

(2) 2 (の後)

(理由)(例)

2で、「部活動の種類」を紹介した後、実際の活動の様子が入るので分かりやすく、3の、部活動をやっている「よいこと・大変なこと」を活動をもとにイメージすることができから。

* 同様の内容が書いていけばよい。

* 2と3の【資料】に触れて説明していること。

4 (最後に六年生へのメッセージを伝えます。)

(例) 部活動をやっていると、よいことばかりでなく、大変なこともあります。しかし、それを工夫や努力をして乗り越えることにより、心が強くなり、充実した毎日になります。六年生のみなさんの入部を待っています。

(九十七字)

* 同様の内容が書いていけばよい。

* なぜ、「部活動は、心を強くし、毎日を充実させる」のかに触れて、六年生に呼びかけるかたちになっていること。